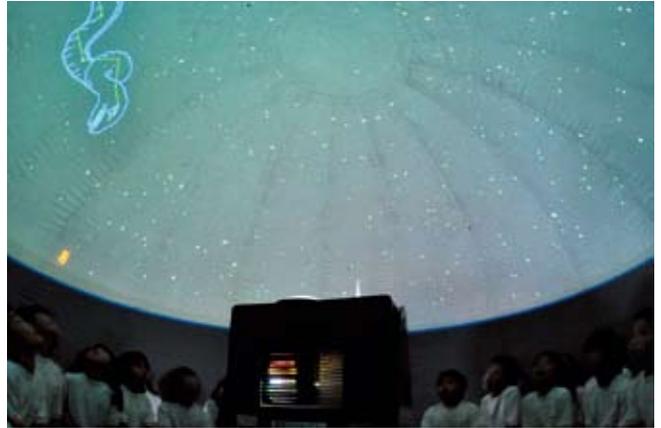


## 宇宙の神秘と夢を体感 デジタルプラネタリウム導入



ドームスクリーンに映し出されたデジタル映像を見上げる小学生。

科学センターに新しく導入されたデジタルプラネタリウム。以前から市民の要望が高く、小学校の天体授業の効率化を目的に約300万円をかけて市が購入しました。5月3日からは特別公開（無料）が始まり、たくさん親子連れが詰め掛れています。

幅5層のドームスクリーンに映し出されるデジタル映像は、まるで宇宙空間に飛び出したよう。最新の光学技術が駆使されているとあって、ダイナミックな臨場感とデジタルならではの豊かな映像投映が楽しめます。

初めて体験した阿部萌香さん（見能林小3年）は、「星がきれいかった。」と感想を話していました。

特別公開は9月末まで。今後、小学4年・6年生の「科学センター理科学習」で活用されます。

## 公共下水道の使用始まる

JR牟岐線以西の富岡地区80・8畝を処理区域として整備を進めてきた公共下水道事業。汚水処理施設の富岡浄化センターが完成し、4月1日、富岡地区の一部の地域で下水道の使用が始まりました。

本市の公共下水道は、雨水・汚水の分流式下水道として整備しており、雨水はポンプ場から桑野川へ排水、汚水は下水道管を通して浄化センターで処理します。浄化センターでは、流入した汚水をオキシデーションディッチ法と呼ばれる処理法により浄化・消毒。水質汚濁防止法の排水基準値以内に処理した水を打樋川に放流します。

今後、未整備区域の面整備（管渠工事）を進めるとともに、下水道施設の適切な維持管理に努めてまいります。



通水式であいさつする岩浅市長（5月7日）。

## 女子プロ野球阿南で初開催

国内の女子硬式野球の最高峰、日本女子プロ野球2011リーグ戦（シンデレラシリーズ開幕戦）が、4月29日、アグリあなんスタジアムで開催され、京都アストドリームスと兵庫スイングスマイリーズの白熱したゲームが繰り広げられました。

快晴の球場に集まったファンは1913人。女性とは思えない長打力と堅実な守備に、観客席から大きな歓声が沸きあがっていました。

試合は、ワンチャンスをものにした京都アストドリームスが2対0で勝利。四国唯一の女子プロ野球選手の小崎ひかるさん（香川県丸亀市出身）は、「四国代表として女子プロ野球を盛り上げていきたい。素晴らしいグラウンドで試合をさせていただきたい。また来たいです。」と話していました。



「野球をするなら阿南で」と野球のまち阿南のPRに協力していただいた選手の皆さん。



## 開所1年 阿南市インキュベーション センターの今

阿南市インキュベーションセンターは、ベンチャー企業の創業などを目的に新技術や研究成果を発信する拠点施設として、平成21年度に本市が阿南工業高等専門学校の敷地内に整備。官学連携施設として、高度で専門的な知識と研究・開発に不可欠な資機材の提供が受けられることが最大の特徴で、利用者からはその利便性について高い評価をいただいております。

現在は、高槻電器工業(株)、(株)バンブーケミカル研究所、(株)カボテック、エヌ・アンド・イー(株)の4社が入所し、さまざまな分野で研究・開発が進められています。

開所から1年。産学官が連携し、未来の創造に挑戦するインキュベーションセンターの今取材しました。

1. 阿南市の特産である竹を使った工業製品化の研究を進める(株)バンブーケミカル研究所
2. LED関連製品の開発を行う高槻電器工業(株)

## 1 竹、木質バイオマスを利用

世界で環境指向の高まりとともに、再生資源であるバイオマス利用の研究が進むなか、地域に豊富な竹や木質材を使い、



化学商品に活用し、産業の振興と環境保全を行う。

また、阿南高専発のベンチャー企業として、産学官の研究シーズを地域の活性化に活かすことを目的に起業。バイオマス分野の事業化研究において、斬新なアイデアを盛り込んだ競争力のある研究成果を生み出し、事業に確実に結びつけようとしています。

### ■事業化研究の概要

未利用の竹及び木質材を素材として、高付加価値の化学商品の利活用研究成果を事業化。

#### ■素材調達

↓ 竹の伐採・搬出、間伐材

#### ■1次加工

↓ 表皮粉、竹粉、竹繊維

#### ■2次加工

↓ 抗菌剤、オリゴ糖など

#### ■販売

用途商品の原料として



### ■シニアスペシャリストによる技術相談

豊富な知識や技術、経験を持つ人材によるさまざまな技術相談を実施。

### ■放置竹林の解消で、雇用と産業を創出

放置竹林の再生をめざして、環境問題の解決をはかり、雇用や企業の創業につなげる事業を展開。市民への相談窓口も設けています。

## 2 超軽量LEDディスプレイの開発

LED関連の新商品の開発や徳島大学、阿南高専との共同開発などを進めるため、平成21年10月に阿南市日開野町に徳島事務所を開設。LED関連商品の開発が盛んな徳島で、独自の商品づくりをめざしています。また、平成22年5月に阿南市インキュベーションセンターに入所。現在は、軽量型LEDディスプレイの開発及び製品化に向けた研究が行われています。



### ■研究内容

空中浮遊型LEDディスプレイ(縦1.92m、横2.56m、RGBフルカラー)は、軽量化と柔軟性を両立した点が特徴。開発中ながら従来製品の1/6以下まで軽量化を実現。ディスプレイは、じゅうたんのよう丸めることができ、持ち運びにも便利で、屋内イベント会場で気球につるして空中浮遊させたりと用途も多彩です。

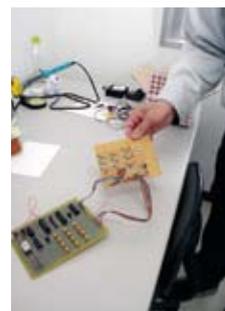
### ■LEDモジュール

126インチディスプレイには5<sup>ミリ</sup>ほどのLEDモジュール76,800個が配列されます。



### ■駆動回路の実証実験

3×3画素(LED)の実験回路で、LED駆動回路の動作検証などを確認。



### ■基板開発

LEDモジュールをフレキシブルケーブルで連結することで、LEDアレイ基板を構成。軽量化を実現できるとしています。